

## 感染対策への細やかな配慮

当外来では口腔外科小手術を年間1200例ほど行っております。一般歯科治療や普通抜歯と比較すると感染のリスクの高い処置が多いのが現状です。特に埋伏智歯抜歯や嚢胞治療の際には注水下での歯や骨といった硬組織の切削が必要となるため、ユニット内の水路管の衛生管理には気を使っています。本ユニットにおいては「常時水消毒システム」と「集中水消毒システム」が備わっております。当科では毎週金曜日の診療終了後には集中水消毒システムを作動させることとしております。以前のKaVoの機種にも集中消毒システムが内蔵されていましたが、操作法に関して慣れるまで大変でしたが、現在では先のユニットのモニターに操作方法が表示されるため、ストレスが少なく時間短縮にもなっております。当方のようにスタッフが少ない病院では、研修医の業務としていますが安心して確実にこなしております。

また外科手術においては患者の血液、膿汁、骨片、歯碎片といったものを吸引する機会が多いのですが、粘張物、固形物の吸引で吸引管の閉塞が起こりやすく、場合によってはユニットそのものの故障につながることもあります。フィルターのこまめな手入れが必要となりますが、フィルターの配置がメンテするのに便利な位置にあることもスタッフにとって嬉しい限りです。外科処置の多い医院にはお勧めの機種と言えます。

ただ正直なところ、他メーカー機種と比べると本体の価格は高めであることは否めません。しかし様々な機種を使用してきた経験からすると、決して高い買い物ではないと言えます。安易に安い機種を導入しても、結果的に頻回な修理や部品交換を経験してきました。長年、KaVoユニットを使用しているユーザーの1人として、故障等が少ないことを実感しており、長い目でみるとコストパフォーマンスのいいユニットで、経営面からも優れた機器だと考えております。



集中水消毒システム



吸引管のフィルター交換

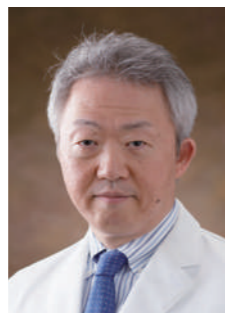
### Customer Information



佐賀大学医学部附属病院

歯科口腔外科

佐賀市鍋島五丁目1番1号  
TEL: 0952-31-6511(代表)



佐賀大学医学部 歯科口腔外科学講座  
教授 山下 佳雄

(公社)日本口腔外科学会 代議員  
(公社)日本顎顔面インプラント学会 理事  
(公社)日本口腔インプラント学会 代議員  
(一社)日本口蓋裂学会 理事  
(一社)日本顎顔面癌学会 代議員  
(一社)日本口腔腫瘍学会 評議員  
日本顎変形症学会 評議員 など

※掲載されている写真にはオプションが搭載されている場合があります。  
※製品の仕様等は改良のため断りなく変更になる場合がございますのでご了承ください。

**KAVO**  
Dental Excellence

カボ デンタルシステムズ ジャパン合同会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラスタワー  
TEL.03-6840-2400 FAX.03-6866-7481  
お問合せ先 TEL.0800-100-6505 (フリーコール)  
<https://www.kavo.jp>

VECPJB2211V1 EQU-113



## ストレスフリーな外科処置を 可能にするユニット

佐賀大学医学部附属病院

歯科口腔外科学講座 教授 山下 佳雄

医学部附属病院における歯科口腔外科の役割としては、口腔外科診療と一般歯科診療の2つを成し遂げることにあります。そのいずれにおいても、診療時間の大半を占めるデンタルユニットの選定には、各メーカーの特殊性を考慮して決定しています。

今回、佐賀大学医学部附属病院の再整備にあたり歯科の外来診療室が移転、拡大しました。設計にあたっては、超高齢社会における患者層の変化、障害度に応じた対応を視野に入れて行いました。

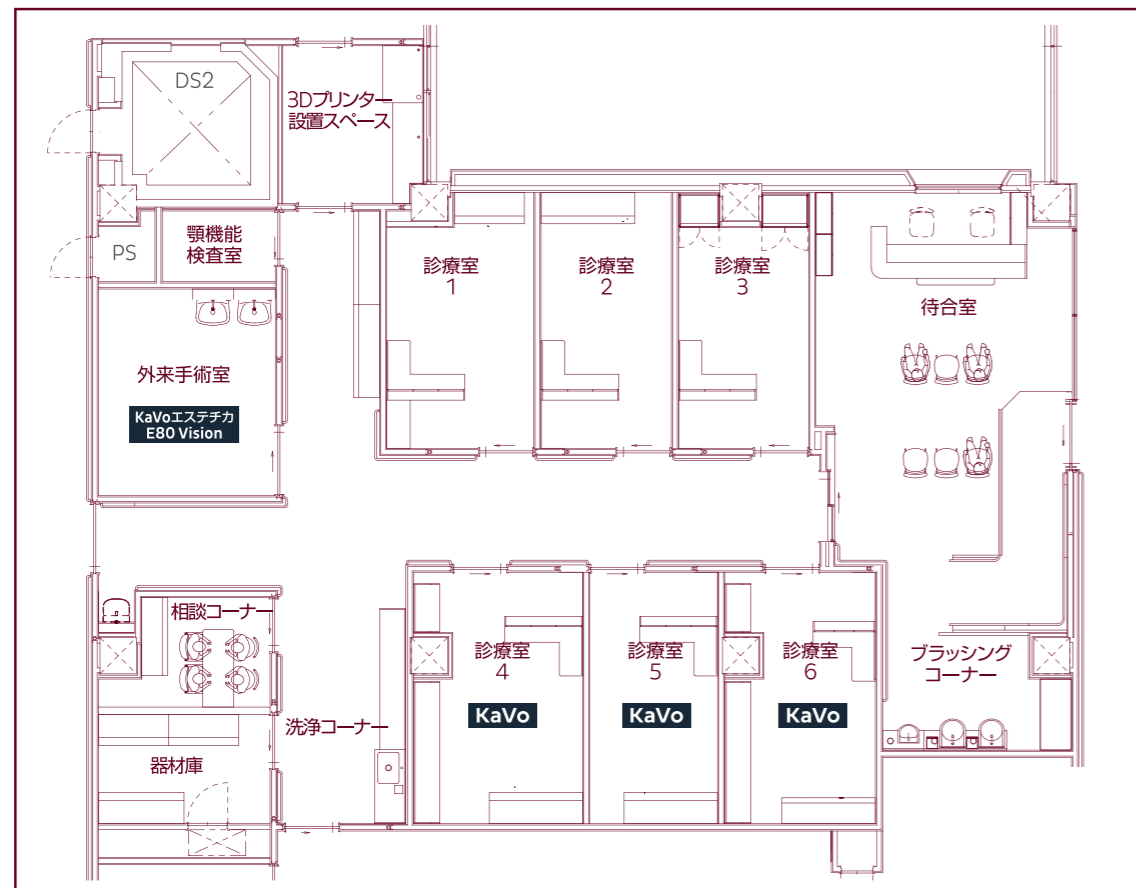


**KAVO**  
Dental Excellence

再整備以前の旧外来診療室は、非常に狭く、例えるなら野戦病院内での診療のごとくで、プライバシー保護、衛生管理、感染予防などの点に大きな問題を抱えていました。ユニット1台の占有面積も小さく、ユニット本来の機能も十分に発揮することができませんでした。今回の再整備に伴い完全個室化とし、大きめなユニットの設置であってもストレッチャー、車いすでの入室移動が可能な間取りとしました。以前より2台のKaVoユニットを採用しておりましたが、国産のものに比べ場所を要し、可動域を十分に生かせることができませんでした。今回、診療室の増設にあたり新規ユニットとしてエステチカE70 Visionを2台追加導入しました。すでにエステチカE80 Visionを2台所有しておりましたが、1台は新たに設けた外科手術室に設置しました。



外来の個室診療室



口腔外科 外来診療室レイアウト

## 満足できるユニットの使用感

さてユニットに目を向けると旧機種のKaVoユニットは小児、高齢者などの患者に対してチェアと体型とのフィット感が悪く、日本人には不向きな印象を個人的に持っておりました。しかし、現行のE70/E80 Visionともにフィット感が大幅に改善され、患者の自然な姿勢に対応でき、患者自身の負担も軽減できていると感じています。特に外科処置においては様々な体位が求められる、さらには術者間での好みの相違がありますが、それらの要望を容易にかなえてくれるユニットです。また、使用する先生毎の診療モードをカスタマイズできる機能があり、治療設定をプログラムできることは、診療の手間を減らすいいツールとなっています。

E70/E80 Visionともにユニットの操作は高感度のタッチディスプレイが採用されており、手袋装着したままで容易に操作できます。また操作画面の表示もわかりやすいデザインで、診療中のストレスが少ない点は大きなメリットです。以前は外科処置の際に、操作ボタン部に滅菌したビニールを貼っていましたが、本ディスプレイは衛生面に配慮された高品質ガラスが用いられているので外科処置の準備にあたってはディスプレイをアルコール消毒するだけとしています。さらには処置終了後の清掃も容易で、スタッフの業務短縮にもつながっています。



手袋を装着してプログラムを操作



画面をロックして清掃

## 外科処置に対応可能なすぐれた操作性

外科処置においては硬組織の切削作業が多いのですが、KaVoハンドピースは切削時の感触を肌で感じやすく、高い切削効率を実感できます。さらに低速回転においても十分なトルクが得られるため、操作性が優れています。特にE80 Visionにおいてはインプランターも搭載していることから、別個に機器を配置しなくてもインプラント埋入手術が可能です。外科処置時には生体情報モニターや超音波切削器具などの配置も必要であり、スペース的にも助かります。



外来手術中の様子